

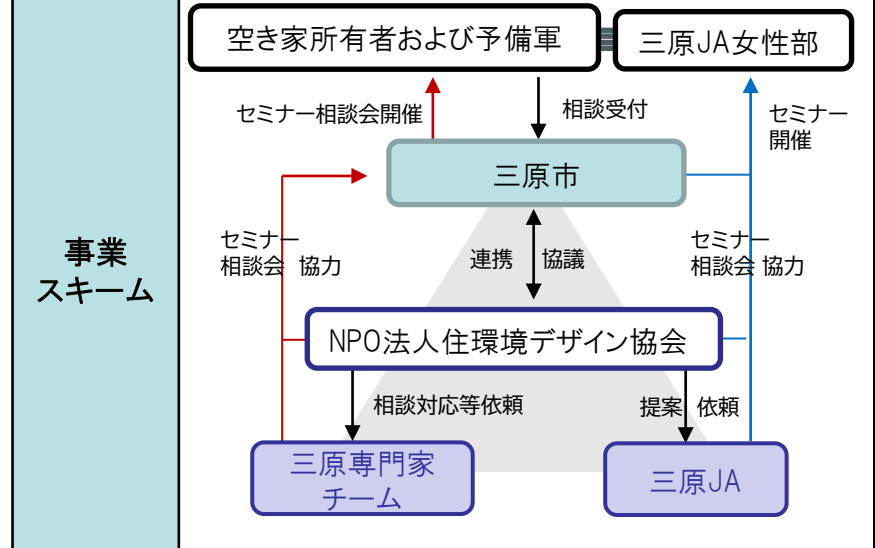
事業概要 官民連携したワンストップ対応の相談体制を整備するため、「市町ごとの空き家相談センター」を構築する。そのために、地方公共団体と地元専門家や民間企業が連携した、空き家対策セミナーおよび相談会を実施し、接点のない3者をつなぐ。

事業者情報

団体名	NPO法人住環境デザイン協会
所在地	広島県広島市中区大手町2丁目5-11
設立時期	2002年1月
団体HP	https://juu-design.net/

活動地域 広島県三原市・広島市

凡例 ...実施事業者 ...自治体 ...その他連携先



空家相談センター構築のため、三原市と協議・連携し地元専門家や民間企業と繋がるため右の取組を行った

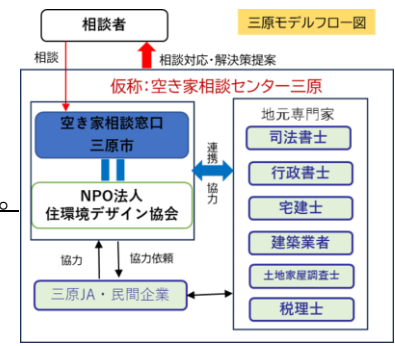
取組内容及び成果

1.地方公共団体と地元専門家や民間企業の連携強化の取組
 ◆下記の取組により、自治体(三原市・広島市)と地元専門家や民間企業との連携が図れた

- 8/7JA三原地域本部女性部セミナー
- 9/5広島ガスプロパン空き家社員研修会
- 12/16三原市空き家対策セミナー相談会

※三原市の取組で6名の専門家と連携した。
三原市と、この専門家で「空き家相談センター三原モデル」を構築する

- 1/29空家相談センター三原モデル構築検討会



2.地方公共団体の相談体制整備の取組
 ◆1組の相談者に対し、三原市職員と3名(2班体制)の専門家が同時対応することで、ワンストップ相談対応を実施した。
 ※三原の専門家6名による相談対応

- 11/26・30三原市空家相談会
- 1/28・29三原市空家相談会



3.空き家対策周知の取組
 ◆三原市職員が空き家対策動画を活用し、住民や地域団体に、その重要性を説く。各地域で動画が視聴されるよう市職員が活動すれば、同市の空き家対策は加速する。

- 1/9三原市地域支援員・地域おこし協力隊連絡会議時、動画視聴



当協会は「市町ごとの空き家相談センター」構築のため、3カ年計画で取組んだ

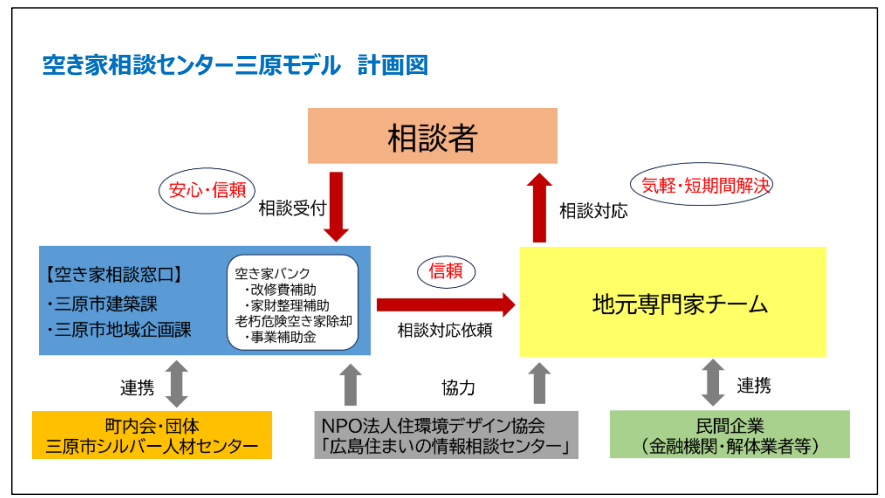
【考え方】

①相談者が望むのは「**気軽・安心・信頼・短期間解決**」の相談窓口！
それは

②地方公共団体と地元専門家・民間企業が連携した「**市町ごとの空き家相談センター**」ではないか！
課題は

③地方公共団体と地元専門家や民間企業の横連携が出来ていない
そのために

④三原市と地元専門家や民間企業をつなぐ取組をする。
そして「**空き家相談センター三原モデル**」を構築する
計画図



【行動】

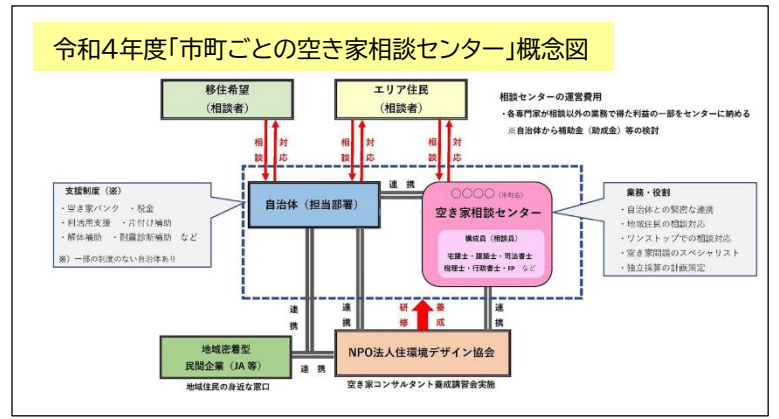
◆令和3年度事業取組

- ・JA広島市女性部役員研修会
- ・三次市空家等対策講演会・相談会
- ・空き家コンサルタント養成講習会
- ・空き家相談のガイドブック作成

◆令和4年度事業取組

- ・JA呉女性部空き家対策セミナー
- ・広島市空き家対策セミナー
- ・三原市空き家オンライン相談会
- ・空き家コンサルタント養成講習会
- ・我が家の終活ガイドブック作成

※R4に三原市と協議し、今年度の取組につなげた。
同市は「空き家相談センター」の必要性を共感した。



1.地方公共団体と地元専門家や民間企業の連携強化の取組

※「空き家相談センター三原モデル」構築のため三原市建築課と協議し連携した取組

JAひろしま三原地域本部女性部空き家対策セミナー

【実施内容】

日時：令和5年8月7日(月)

会場：JAひろしま三原地域本部4階

対象者：JAひろしま三原地域本部女性部会員

参加者：28名(各14支部代表者)

◆成果

- ①648名の女性部に空き家対策を周知するため、28名の代表者に実施(不参加者は動画DVDの視聴を促す)
- ②三原市建築課担当官が講師となり、市の空き家対策の取組を周知

JA総務課長 開催挨拶



(セミナー) 三原市職員が講師



三原市空等家対策セミナー・相談会

【実施内容】

日時：令和5年12月16日(土)

会場：サンシープラザ4階

対象者：三原市空き家所有者および予備軍

参加者：セミナー58名(会場43名・オンライン15名)

相談会2組

◆成果

- ①セミナー講師および相談員は地元専門家6名に依頼
 - ②相談会は1組の相談者に対し、市職員と地元専門家3名が同時対応し、ワンストップ相談・解決に導いた
- ※専門家6名は2班に分かれ対応

(セミナー) 地元司法書士が講師



(相談会) 3名の地元専門家と市職員



※広島市住宅政策課と民間企業をつないだ取組

広島ガスプロパン空き家社員研修会

【実施内容】

日時: 令和5年9月5日(月)

会場: 広島ガス(株)ガストピア6階

対象者: 社員およびグループ販売会社代表

参加者: 43名(社員24名、販社代表17名、他2名)

◆成果

- ①社員は研修により、消費者からの相談に対し、広島市や当協会とつなぐ役割(窓口)を担う
- ②広島市職員が市の補助制度を周知

広島ガスプロパン執行役員挨拶



(セミナー) 広島市職員が講師



2.地方公共団体の相談体制整備の取組

※「空き家相談センター三原モデル」構築のため三原市建築課と協議し連携した取組

三原市空き家相談会

【実施内容】

日時: 令和5年11月26日(日)・30日(木)

: 令和6年1月28日(日)・29日(月)

会場: 三原市役所5階501・502号室

対象者: 三原市空き家所有者および予備軍

参加者: 11月: 15組対応(定員16組、申込16組)

1月: 14組対応(定員14組、申込14組)

◆成果

- ①地元専門家6名が相談員を担う
- ②1組の相談者に対し、三原市職員と専門家3名(2班体制)が同時に対応し、ワンストップ相談し解決に導いた

(1班) 3名の地元専門家と市職員



(2班) 3名の地元専門家と市職員・地域起こし協力隊



3. 空き家対策周知の取組

※三原市職員が住民や地域団体に対し、空き家対策を周知するための取組

三原市空き家対策動画制作

【内容】

テーマ:「考えよう!住まいの終活」

講師:西村自起:広島修道大学非常勤講師 CFP

動画時間:40分(3部作)

視聴対象者:住民・地域団体(町内会)・市職員

◆成果

- ①1/9(火)令和5年度三原市地域支援員・地域おこし協力隊連絡会議で視聴
- ②今後は市民出前講座等で活用

動画画像



1/9動画視聴風景



4. 空き家相談センター三原モデル構築のための取組

※本事業に携わった、三原市職員・地元専門家6名・広島専門家・NPOが協議

空き家相談センター三原モデル構築検討会

【実施内容】

日時:令和6年1月29日(月)

会場:三原市役所5階

参加者:三原市建築課、三原市地域企画課、
地域おこし協力隊、地元専門家6名、
広島専門家1名 NPO 合計15名参加

◆成果

- ①今年度取組での成果や課題を共有
- ②R6年度以降の取組方法協議
- ③三原市と地元専門家の認識共有

検討会風景



取組の成果と課題および「相談センター三原モデル」構築について

◆取組の成果

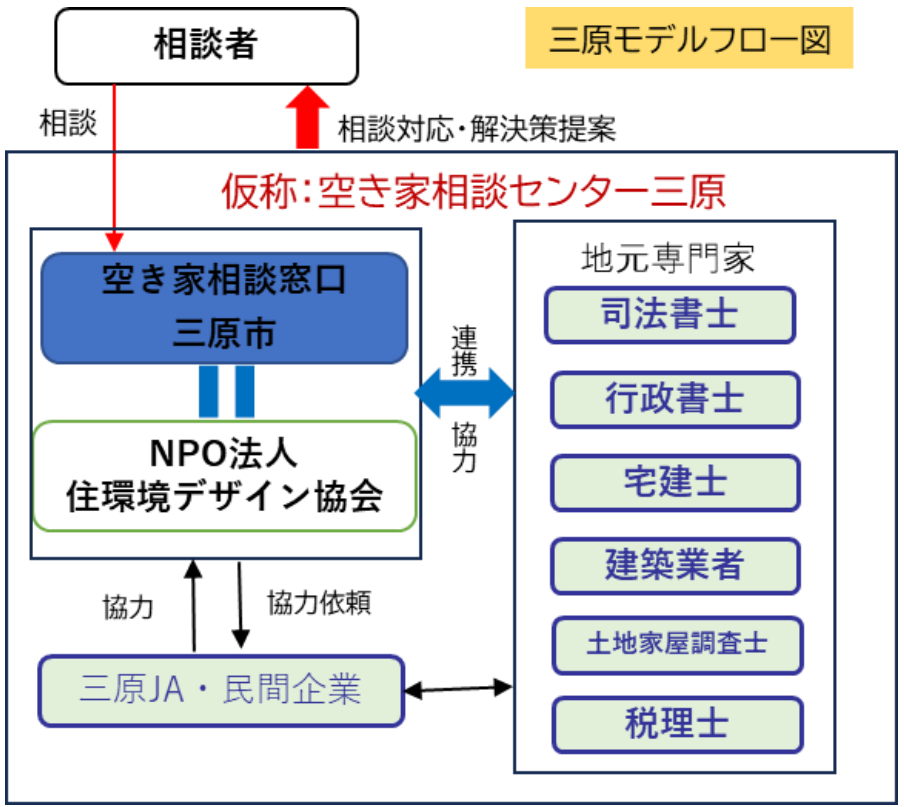
- ・地域に根差した6名の地元専門家と連携できた
- ・三原市とJAをつないだ
- ・セミナーによる空き家対策の周知
- ・相談会のワンストップ対応

◆今後の課題

- ・JAと継続した連携(協力体制)
- ・広島ガス三原販売との連携方策

◆相談センター構築の課題

- ・地元専門家への謝金調達策(検討事項)
- ①国交省補助事業の活用
- ②三原市空き家相談会予算化
- ③三原市空家対策事業化
- ④空家等管理活用支援法人制度



三原市と地元専門家6名は、今後も協働し空き家対策に取り組むことについて認識共有された。専門家に支払う謝金については、三原市の検討事項となった。